

今年が高松高校創立110周年です



(第 24 号)

高松創立110周年

記念への思い



玉翠会会長
多田 野 久

会員の皆様方におかれましては、益々ご健勝にて活躍のこととお慶び申し上げます。

玉翠会会長として六年目を迎えておりますが、これまで諸行事が滞りなく円滑に運営されてお



校長
溝 瀧 利 博

新たな歩みを変えつつも

青葉若葉の好季節となりましたが、玉翠会の皆様には平素より母校の教育活動に対して深いご理解と力強いご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、本校は今年で創立百十周年を迎えるとともに、定時制・通信課程を設置して五十五周年に当たります。高松高校の歴史はそのまま香川の

において、大西大介玉翠会副会長を委員長とする実行委員会発足の承認をいただき、早二年が経過しました。この間、各小委員会ではそれぞれの担当分野で着々と準備が進められ、今年度の実施に向けて邁進しております。

青春時代を共有した多くの同窓生の心を結ぶ「玉翠会員名簿」の発行や、母校の百周年以後の十年間を中心に綴った創立百十周年記念誌の発行、今後は無き高松市中央球場や新しい生島町の県営野球場で「ブルーフレ

ランスよく回転させていくことの大切さを説いていきます。現在は過去をくわして存在しないが、過去だけに与えられていては新しい世界を切り拓いていけないことも事実で、これを機会に高松高校百十年の長い歴史と輝かしい伝統を「温故」するとともに、そこから百十一年目の新しい高松高校像を「知新」していかなければならないと思っております。

世界のビジョナリー・カンパニー（未来志向の先見的な企業）に通ずるの「基本理念は変えずに、やり方だけを時代の変化に合わせて柔軟に対応している」ところ

！高松・ガンバレカンパレ高松と声がかかるほど応援した伝統の「香川の早慶戦（高松VS高松）の開催、脈々と受け継がれてきた高松スピリットを次の時代に引き継ぎ、新たな歴史が刻まれることを願う「独立自主の鐘」の設置、恩師や級友と苦楽を共にした高松中や県女時代の校舎の模型や、百十年間の制服の変遷を展示する「高松文化祭」、そしてその夜は友と昔話に花を咲かせ、明日に向かって新たな活力をわかせてくれるであろう「記念祝賀会」の開催等を企画しております。

会員の皆様の絶大なご支援とご協力を願ひいたしまして、この創立百十周年記念事業を成功裏に導きたいと願っております。そして、この百十



委員長
大 西 大 介

創立110周年に寄せて

母校の高松高校が平成十五年に創立百十周年を迎えるにあたり、記念事業実行委員会を作り、二年弱をかけて準備を進めてまいりました。詳しくは別掲していますが、高松と県女の校舎の模型や古い制服、制帽、徽章の再現、記念誌の発行、モニメントの製作、シンボルマークの制定とあらゆる準備も整い、いよいよ平成十五年九月六日を迎える最後の仕上げの時となりました。今回の周年事業は現役高生徒との接点を文化祭に求め、昔日から今日までの歴史を展示しますので、是非校友の皆様には文化祭を訪れ、現役と共に百十年の間を浮遊していただきたと思っております。また、先立つ八月三十日は香川の早慶戦と言われ、長く県民に親しまれている良きライバルである県立高松商業高校との野球試合をOB戦、現役戦とオリブ球場で用意しております。野球観戦、文化祭見学に多くの校友が参加されることを心よりお待ちしております。

創立110周年記念行事 (案内)

- 一、平成十五年度版「玉翠会員名簿」発行
・平成十五年七月二十三日完成予定
・価格五、〇〇〇円（送料込み）
・予約限定出版
名簿購入の予約がまだの方は、お早めに葉書を投函してください。または、左記お問い合わせ電話までご連絡ください。
(株) サラト 0120-91919-904 受付 No. (30702)
 - 二、「創立110周年記念誌」発行
・平成十五年八月三十日発行予定
・高高一〇〇年の後の一〇年を中心に編集
・A4版 約一三〇ページ
・価格一、〇〇〇円
購入ご希望の方は同封の専用振込用紙にてお振込みください。
 - 三、香川の早慶戦（高松VS高松）
・平成十五年八月三十日（土）十五時開会式
・県営オリブスタジアム
・現役およびOB戦
・入場料 無料
 - 四、記念モノメント
・平成十五年九月六日（土）九時開催
・高松プラザ
・高松「独立自主の鐘」除幕式
・シンボルマーク・ファンファーレ表彰式
 - 五、記念高松文化祭
・平成十五年九月六日（土）・七日（日）
・高高一〇〇年の歴史を紹介
・高松と県女の校舎の模型や制服を展示
 - 六、記念祝賀会
・平成十五年九月六日（土）十七時三十分開宴
・全日空ホテルクレメント高松
・会費一〇、〇〇〇円
・「創立110周年記念誌」「校歌入りCD」を進呈
参加ご希望の方
七月四日（金）までに同封の専用振込用紙にてお振込みください。
祝賀会会費納入をもちまして参加申込みとなります。
確認後、正式なご案内状をお届けします。
宿泊ご希望の方
左記のホテルに個人で直接お申込みください。
その際、玉翠会員であることを言っておきますと、特別料金にて宿泊になります。
全日空ホテルクレメント高松（087）811-1111 宿泊予約係
リーガホテルゼスト高松（087）822-3555 担当 谷本
ロイヤルパークホテル高松（087）823-2211 担当 大塚
- ※九月六日（土）高松高校と全日空ホテルクレメント高松間においてシャトルバスを運行いたします。どうぞご利用ください。

玉 翠 会 役 員

本部		支 部	
(顧問)	國野 美代子	(顧問)	大西 潤甫
(会長)	多田野 久	(副会長)	岩部 隆
(副会長)	和子	(副会長)	平井 温子
(副会長)	大西 大介	(副会長)	繁文
(副会長)	義文	(副会長)	松浦 三知子
(副会長)	藤井 富弘	(副会長)	永野 精子
(事務局)	大西 昭一郎		
(副会長)	島田 清隆	(副会長)	喜久子
(副会長)	岡井 嘉代		
(副会長)	辻 孝夫	(副会長)	清水 育子
(副会長)	太田 武夫	(事務局)	入船 健一
(副会長)	河野 一郎		
(副会長)	渡辺 謙	(副会長)	直原 弘子
(副会長)	太田 房雄	(事務局)	佐竹 勝利

百十四銀行元頭取・名 譽 泉 民
玉翠会名譽会長
綾田整治氏ご逝去 享年97歳
地域経済の発展にご尽力された綾田整治氏が五月十日、ご逝去されました。玉翠会においても、昭和五十三年四月から、平成三年十二月まで会長を務められ、その後名譽会長として、終始玉翠会発展のために貢献されました。遺徳をしのび、心から哀悼の意を表します。

高 中 部 会

理事 植田 稔・丸山 修・加藤達雄・日下千智・島山武史・大竹哲也・三宅洋三・岡 観隆・九富彰三・久米房之助

監事 荻淵 昭

晚 翠 部 会

理事 湯浅美恵子・伊藤卓子・真部隆子・形見米子・尾形カエ・喜岡美知子・谷本文子・大久保和子

監事 安達恵美子

高 高 部 会

理事 櫻村和子・太田英章・今澤暉子・鈴木邦彦・増井邦彦・古竹久雄・前谷亮三・白井 治・植谷敬昌・竹林治朗・谷森 勉・石原英輝・豊田章二・徳永孝明・小川和彦・国東照美・吉岡哲朗・村井恵子・中山隆司・中村秀明・石橋真知子・中村台年威・松本敏裕・中 博史・小島英夫・間島賢治・石田謙作・中村谷百則・灘波博司・中山千晶・亀井正和・小早川龍司・佐々木富司・加藤 郎・稲田耕一・森川輝男・福家 正・常谷忠克

監事 前田道正

代 議 員 名 簿

高 中 部 会
三木 忠雄・川西 源吉・神邊隆助・香川 和夫・村尾 穂積・森 慶太郎・國宗 武男・乾 隆・久能 長之・大島 久俊・竹内 久士・小夫格之助・小西 行三・内 久夫・渡辺正太郎・多田義徳・田村 弘・古川 静美・山田 純一・竹内 正・実川 一成・原内 平・松野 隆明・渡辺 弘・泉川 孝孝・山田 幹夫・加藤 義治・木内 正夫・渡邊 典雄・堀田 良弘・黒田 昌男・荒木 幹雄・清谷 圭・増田 昭夫・谷川 一典・河野 猛・水野 直樹
晚 翠 部 会
岸本 哲代・久保田チヨ・宮脇 千代・小林 キヨ・明石よしえ・鎌野 順・秋山智恵子・岡内 一江・佐々木イ・谷合 晃代・簡井 蕙・綾田 絹江・杉内 武・逸見 静子・國宗 博子・逸見 光子・中村 政子・河田 スマ・鈴木ツヅエ・穴吹 武子・杉山 清子・渡辺 綾子・鎌田 静子・香月 フミ・川西 美代・丸尾美子・中村美恵子・久米八寿子・馬場 章・半田美枝子・平井 貞子・植田 澄子・藤田 幸子・笠井 愛菜・小川 幸子・高木 敬子・山田 恵子・滝口 清子・桜又フミ・岩井 美智子・川崎 信子・秋山多美子・荒木 聡子・上原美智子・加藤 鏡子・佐藤 恭子・神谷 順子・松田 郁子・西尾 信子・伊藤 悦子・矢野坂愛子・岡部 澄子・水野 綾子・木村 恒代・石原 卿子
高 高 部 会
池田 清・岡村 幸雄・佐藤 嘉子・植原 安得・岡 修二・平井 二郎・河西 慈子・難波 文子・入倉 満・藤 孝正・小田 一郎・石津 則子・山西 守・関谷 聡子・鶴川 舜一・植田 京子・熊善一郎・中村 敏子・真鍋千賀子・吉田 晃・塩田 正章・松原 剛・秋山王佐子・中腰木 子・岡崎 勝一・増田 勝彦・早川美智子・溝川 淳子・大林 義和・遠藤 忠知・森田 幸子・日野 弓根・岡崎 進・上野 文夫・八代 紀子・横井 佑子・塚本 修・佐竹 睦子・木村太郎・加藤 祥子・高浜 孝・安藤 晋一・笠井イコ・谷本 朋子・千切多郎・鎌田 基志・岡田佳代子・飛田 久子・山内 康生・北岡 保之・三宅加代子・松尾久美子・新藤 勝利・藤沢 品・森川 信子



平成十四年度 先 輩 講 演 会
植田和弘氏を迎えて
「環境と経済を考える」



毎年恒例となつてゐる先輩講演会が、今年度は平成十四年十一月八日に京都大学大学院経済学研究科教授の植田和弘氏(昭和四十五年卒)を講師にお迎えして行われた。植田氏は、本校卒業後、京都大学工学部を卒業され、京都大学経済学部助教を経て、現在同大学大学院経済学研究科教授として活躍されている。こうした履歴が示すように、植田氏は工学と経済学の二つの博士号を持つ日本でも希有な学者として知られ、ご専門である環境経済学に關してはこれまで多数の著書を刊行されている。今回の講演では、「環境と経済を考える」と題して、「自然と人間の共生」という問題について語ってくださった。「地球は縫い目のない織物」という表現で、地球上全てのものは深く関連し合つてゐることを述べられた後、人間にとって利便性の高いものが他の生き物にとって必ずしもそうでないことをわかりやすい実例を交えて語り、多様な物の見方の必要性を説かれた。また、経済学の勉強について、教科書に書かれていないことも多く、「現実が教科書をこえてゐる」という大変印象的なお話も伺った。現場に足を運び、自分で調べ、確かめることの大切さを強調され、「自ら学ぶ」姿勢を志向している高高在校生を真に力づける内容となった。そして、グローバルな視野を持ちながらも地道にそれぞれの場で努力して、新しい都市のモデルや生活のスタイルを作り出していくことが今後期待されていると熱を込めて語り、話を締めくくられた。

人とキカイのことを考えている会社です

TADANO

幸せと感動を伝える創造企業

株式会社 タダノ

〒761-0185 高松市新田町甲 3 4 番地 TEL 087(839)5555(代)

関西玉翠会 だより

平成十五年度も私たちが取り巻く社会環境は大変厳しいものと予想されますが、玉翠会本部の皆様方におかれましては、母校の創立百十周年を迎える一つの節目の年として、記念行事、事業の計画や準備等で大変ではないかと思われまふ。本年度を成功裏に導かれ、充実した年度となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

さて、平成十四年度の関西玉翠会の活動として、十月十九日(土)に南海サウスタワーホテルにて、「あの頃の思い出をよめる」の仲間と語り合おう」をテーマとして第九回関西玉翠会総会が開催されました。三百名以上の中高、男女、高卒の卒業生が世代を超えて一同に集まり、盛大にまた無事に終了しました。事を報告いたします。総会には、母校より溝渕校長、玉翠会本部より多田野会長を始めとする役員の皆様、岡山玉翠会から入船事務局長、そして増田高松市長様のご出席を賜りました。また総会の開催に当たりましては、玉翠会本部を始め、各支部の皆様方、ならびに広告・協賛品等をご提供頂きました。O.B.ご活躍の皆さんの参加を募るため、

関西在住の活躍している現役学生諸君にスポットをあてました。壇上での自己紹介をお願いしましたところ爆笑の連続で、参加者全員から喝采を浴び大変な盛り上がりを見せました。次年度以降も若い世代の参加者が少しも増えればと願っております。

関西玉翠会の運営は、卒業後三十一一年を迎える年次が総会幹事となり、一年をかけて準備、運営し次年度に引き継ぐシステムとなっております。昨今は広告収入も年々厳しくなるうえに、経済事情も反映して、総会参加

者の見直しや運営費のコスト削減の声が上がってきております。私たちは最大の努力をコスト削減に向け、一応の成果をあげました。また、総会参加者が高齢化してきたことも今後の課題となっております。こうした中で平成十五年度は、四十七年卒の藤田秀隆君を代表幹事とする新メンバーで関西玉翠会を運営するべく既に活動を始められています。今年の総会は十月二十五日(土)ホテルニューオータニ大阪で予定されており、昨年は新メンバーの創意工夫を期待すると共に、今までと同様に、

いやそれ以上に皆様のご支援とご指導をお願いする次第です。さて京阪神晩翠会におかれましては定期的に年五回の集まりの場を持たれ、その内一回は総会、三回は代議員会、一回は反省会と、精力的に活動されております。二〇〇二年度の総会は六月八日(土)に阪神デパートグリーンルームにて、八十名余りに及ぶ大勢の参加者を集い盛大に開催されました。今年は、六月一日(日)に昨年同様阪神デパートグリーンルームにて、総会を予定されており、ご支援をお願いいたします。

名刺広告について
四国新聞一頁にて、創立百十周年記念の広報を致します。新聞掲載に必要な資金の負担金として、各位に名刺広告を募っております。お申し込みは、広告代理店(株)オロコまでお願いいたします。
TEL 067-551-4151

平成 15 年度 玉翠グローバルアカデミー (GGA) の予定
7月26日(土) 植田 隆子氏 (高昭昭和46年卒)
国際基督教大学社会科学研究所所長、国際関係学科教授
東京大学ドイツ・ヨーロッパ研究室客員教授
テーマ:「欧州の変動と国際政治の再編」
9月20日(土) 山地 恵治氏 (高昭昭和43年卒)
東京大学大学院 新領域創成科学研究科教授兼工学系研究科教授
テーマ:「エネルギー-学」の視点
10月21日(火) 多田野 久氏 (高昭昭和25年卒)
玉翠会会長 株式会社タダノ取締役相談役
テーマ:「波乱に富んだ我が人生」
尚、多田野氏のGGAは、平成15年度先輩講演会を兼ねています。
朝原 雄三氏 (高昭昭和58年卒)
松竹映画監督
朝原氏は、現在「釣りバカ日誌14」(今年9月頃に公開予定)を制作されています。実施日とテーマは未定ですが、決まりましたら、高松高校ホームページ等でお知らせします。

本年九月には高百十周年記念の催し物が開催されるべく、関係の方々はその準備に動かれておられるものと存じます。大勢の卒業生が集まり、盛大な会になることを心からお祈りする次第であります。もちろん小職も東京在住の身ではありませんが、なんとか頑張って帰省し、参加したいと思っております。さて、東京ではこの百

十周年記念の催し物ほど大規模ではありませんが、毎年千人規模の集まりが行われております。昨年はその東京玉翠会の二十回目の総会が行われ、約九百名の方々が母校とふれあうの思いをこめて、想いのひとときを過ごされました。その総会開催の様子とその他の東京玉翠会の活動を幾ばかここに紹介させていただきます。昨年の東京玉翠会総会

は七月十三日土曜日に東京は芝公園にある東京プリンスホテル鳳凰の間に開催されました。高卒会、晩翠会、高松会が東京玉翠会に統合されて二十回目の総会ということ、二十年度の学園祭と称して高校時代学校に通いながら楽しんだ思い出の食べ物、食材を高松から取り寄せ、できるだけ当時のままに再現して皆様に味わっていただくという、

東京玉翠会では総会以外にも、さまざまな分科会があり、年に一度の総会の合間に幾度か数千人の集まりが開催されております。その代表的な集まりとして神田会という、毎回文化的なテーマを掲げ、そのテーマに

ついて語りながら、楽しく酒を飲み交わす会があります。昨年には名月コンサートと称して、鎌倉の名利である東慶寺の本堂で高卒生達のペーシスト、藤原清登さんとフルーティストの白川真里さんのジョイントコンサートを行うなど、玉翠会にふさわしい(？)高尚なテーマを掲げての集いが行われております。この他にもゴルフ、囲碁など、各人の趣味を活かした同好会があり、東京に居ながらも常にふるさとに接することができ、東京玉翠会には素晴らしい都会生活のなかの清涼剤のよう存在となっていることを願ってやみません。

二十回目を迎えた東京玉翠会総会ですが、すでに千人規模の集会となったこと、開催のための準備作業にかなりの労力を



岡山玉翠会第二十四回総会
は平成十四年十月二十七日、JR岡山駅前のアークホテル岡山に於いて開催しました。

久しぶりに母校の卒業生(四十一卒業)である溝渕利博校長先生が十四年四月に就任されました。早速に総会へ御案内いたしましたら心よくご承諾くださり、渉外部担当の幡鈴千景先生(英語担当)ともどもにご出席して総会に華を添えていただきました。辻孝夫会長の開催挨拶に続いて、来賓を代表して増田昌三高松市長から祝辞並びに県郡、高松市の都市計画構想と現況について詳細にご説明されました。多田野久本部長からは、岡山支部の発展と会員各位の活躍に謝意が述べられた上で、本年九月を中心に開催する母校創立百十周年記念式典及び記念事業について岡山玉翠会へも協力要請がありました。

溝渕利博校長先生は、母校の教頭時代にも岡山玉翠会総会に出席されており、懐かしさを込めて母校の現況、特に教育界で注目されている生徒の自主性を尊重した「学ぶ学校」と「独立自主」の校風を大切にしているとのご挨拶をいただきました。

各支部だより 二十回目を迎えた 東京玉翠会

だきました。また、当時よく聴いた音の曲リストを募り、思い出の曲リクエストベストテンを発表し、総会中BGMとして流しました。いずれの趣向も高校時代の思い出がよみがえって懐かしさと好評をいただきました。本年の総会でもこの思い出の食べ物引き続き再現される予定であります。

要するようになってまいりました。この開催準備は年齢が四十三歳となる、卒業後二十数年を迎えた学年が毎年担当することになっており、昨年は我々昭和五十二年卒が幹事団を担当させていただきました。今後、同様にこのシステムは引き継がれていくものと思いますが、開催準備の労力が増すことと担当学年に過剰な負担がかかろうと、さまざまな工夫を凝らす必要があるのではないかと、うかがうことが最近の課題にもなっております。そうすることによって三十回、四十回といつまでも毎年の想いのひとときを楽しんでいくことを願ってやみません。

岡山玉翠会第二十四回総会
は平成十四年十月二十七日、JR岡山駅前のアークホテル岡山に於いて開催しました。



久しぶりに母校の卒業生(四十一卒業)である溝渕利博校長先生が十四年四月に就任されました。早速に総会へ御案内いたしましたら心よくご承諾くださり、渉外部担当の幡鈴千景先生(英語担当)ともどもにご出席して総会に華を添えていただきました。辻孝夫会長の開催挨拶に続いて、来賓を代表して増田昌三高松市長から祝辞並びに県郡、高松市の都市計画構想と現況について詳細にご説明されました。多田野久本部長からは、岡山支部の発展と会員各位の活躍に謝意が述べられた上で、本年九月を中心に開催する母校創立百十周年記念式典及び記念事業について岡山玉翠会へも協力要請がありました。

溝渕利博校長先生は、母校の教頭時代にも岡山玉翠会総会に出席されており、懐かしさを込めて母校の現況、特に教育界で注目されている生徒の自主性を尊重した「学ぶ学校」と「独立自主」の校風を大切にしているとのご挨拶をいただきました。

溝渕利博校長先生は、母校の教頭時代にも岡山玉翠会総会に出席されており、懐かしさを込めて母校の現況、特に教育界で注目されている生徒の自主性を尊重した「学ぶ学校」と「独立自主」の校風を大切にしているとのご挨拶をいただきました。

徳島玉翠会のこの一年



玉翠会員の皆様、お変わりございませんでしょうか。

さて、徳島玉翠会のこの一年のトピックについてご報告いたします。

まず、平成十四年度の総会ならびにパーティーを十一月十七日(日)にホテルクレメント徳島において開きました。第十回にあわせ、来賓を含めて四十名の参加があり盛会でした。総会の冒頭、二月に逝去した徳永悦郎氏(四十六年卒、事務局担当)に黙祷を捧げました。続いて、多田野玉翠会会長、溝淵高松高校校長にご挨拶をいただきました。そして、渡邊徳島玉翠会会長(二十三年卒)のご挨拶と牛川会

計担当係(四十三年卒)の会計報告を行いました。第二部のパーティーでは、南玉翠会副会長の音頭で乾杯をし、福岡四国大学学長(三十三年卒)と長尾県議会議員(四十四年卒)のスピーチが続いた。あと、直原(三十年卒、渡部(四十四年卒)、牛川(前述)の三氏に十回連続出席者表彰を行いました。記念品贈呈者は出席者最年少の三野さん(平成十二年卒)にお願ひしました。歓談では、お互いの元気な様子を喜び合ったり、新しく知り合って今後のつき合いを約束したりという、いいながらの光景が見られました。最後に高中、県女、高松の校歌をそれぞれの卒業生が競うように斉唱し気炎を上げ、再会を期しました。また、今回は、総会に先立ち、

特別企画として太田氏(三十六年卒)発案の「パソコン入門講座」を開催してお楽しみ頂きました。さらに、渡邊会長と同期の植村氏(大阪在住)に司会をお願いしましたが、なかなかの名司会でした。

次に、昨年出せなかった「徳島玉翠会だより」の第六号も発行することができました。一面に十三年度の総会の写真と溝淵校長の「歴史も伝統もある学校に」、「一面以降には渡邊会長の「同窓会」の目的」、松下氏(十四年卒)の「後は見せん明日が逃げるから」、増谷氏(四十七年卒)の「あつという間の十年間」を掲載しました。そして、追悼文を、十三年十一月に亡くなった磯部前会長(三十二年卒)については太田氏(前述)に、徳

永氏(前述)については渡邊会長に、それぞれ書いていただきました。また、最新の名簿を挿入しました。この会報は総会の出席者に配布し、出席できなかった会員には後日お送りしました。

さて、三つ目に記すべきは会費の問題です。実はこれまで会費を集めておらず、総会の残金だけで賄ってきたので、会の運営費はほぼ底をつきました。そこで十二月に、急場の財源として運営費の寄付を一口千円でお願ひしましたところ、大勢の方から集まりましたが、中にはなんと一円を出していただいた方もありました。一月末日現在で十六万二千七百四十円集まり、嬉しい悲鳴です。やはり母校を思う気持ちがあるのだと、会長をはじめ事務局員一同が感動しています。

いたく感激いたしました。来年度以降の方針については改めて総会の場でお話ししたいと考えております。何か良い方法がありましたら教えてください。

最後に、本会の課題のもう一つは総会への出席率の向上であります。これまでも必ずしも高くはないので、上記の寄付の勢いを借りて、会員の結束をさらに固めたいと考えています。何か良い方法がありましたら教えてください。

卒業35周年記念同窓会



昭和四三年に卒業した同窓生は、全クラス合同の同窓会を毎年正月市内のホテルで開催しており、卒業二十周年と三十周年には節目として、高松国際ホテルで恩師も交えた規模の大きな同窓会を開きました。しかし、団塊の世代ともはや離れた我々も五十歳を過ぎ、最近かなり老力が付き、十年毎ではあとも何回開催出来るか分からないので、今後は五年毎に記念同窓会をやろうと、今年正月

二日に高松国際ホテルで卒業三十五周年記念同窓会を盛大に開催しました。準備作業は昨年の秋から開始し、過去二回の開催経験から、会場設営、参加者動員、余興企画などの事前準備や当日の作業内容などについては十分なノウハウが有り、母校の玉翠会館で毎月打合せを行い、少しでも多くの同窓生が参加出来るよう力を注ぎながら、スムーズに開催にこぎつけました。

当日は、国際ホテルの瀬戸の間に、東京大阪からの帰省者も合わせ百五十名ほどが集まりました。二十七名の物故者へ黙祷、溝淵現校長の挨拶、乾杯のあと懇談にはいり、久しぶりの再会に、会社や家庭の近況、初孫の可愛さ、身近に迫った定年、果てはリストラや定年まで会社は大丈夫か、など話の内容も悲喜こもも。コップを片手に、疲れを知らない子供のように、相手を変えてはひたすら喋りました。喋り疲れた後半は、腕に覚えのエレキマニアが結成した三十五周年記念バンドがステージに登場し、子供や後輩の力を借りながら、懐かしいのグループサウンズの名曲を熱唱しました。最



後に、ステージに当時の応援団員三名が結襟の制服で立ち、全員で応援歌と校歌を歌ってとりあえずお開きとなりました。

同窓会

47年卒業
岡山市助役

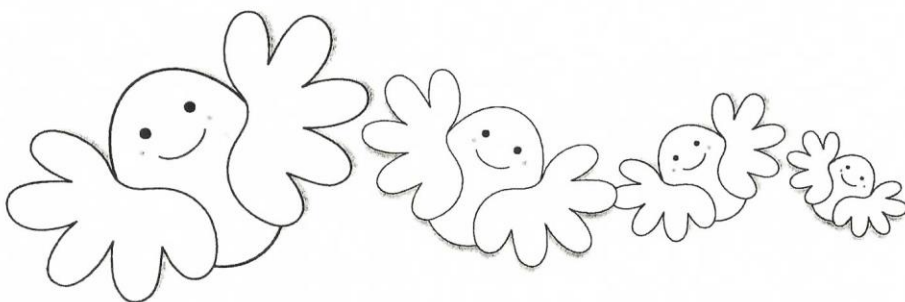
井口 義也

がある。住所が頻繁に変わる。幹事に知らせていないと案内が来なくなるのである。また、例えば東京での集まりに、二年は出られなくても、転勤で数年間欠席すると、せっかく知り合ったメンバーとも疎遠になってしまう。

しかし、最近ではメールやインターネットという便利な手段もあり、参加していただければどこにいてもメンバー間の近況報告や同窓

である。残念ながら、まだ香川での集まりには出席できていないが、今年はずいぶん実現させて、メール上で近況を聞いている旧友たちとじっくり話をしたいものだと思っている。

人生半ばすぎで初めて強く実感した郷里や旧友たちへの思い。そして、そんな時期に郷里との関わりが深い岡山で仕事をすることになったという不思議な縁を感じている。



ます! RNC
<http://www.rnc.co.jp>

平成 14 年度 玉翠会会計収支決算書

〈収入の部〉

費 目	金 額
1 玉翠会入会金	1,073,200
2 玉翠会 会費	10,211,300
3 広 告 料	400,000
4 雑 収 入	4,490
5 前年度繰越金	33,800,346
計	45,489,336

〈支出の部〉

費 目	金 額
1 本部運営費	6,436,329
(1)玉翠会運営費	872,883
(2)慶 弔 費	421,080
(3)玉翠会報発行費	3,542,366
(4)職 員 給 与	1,600,000
2 支部運営費	1,078,600
(1)支部総会お祝	400,000
(2)支部総会旅費	678,600
3 卒業生記念品料	117,369
4 学 校 助 成 金	2,000,000
5 備 品 充 実 費	108,360
6 教育基金へ繰入	1,650,000
7 退 職 積 立 金	200,000
8 110周年記念事業費	5,000,000
9 予 備 費	0
10 次年度繰越金	28,898,678
計	45,489,336

創立100周年記念玉翠会教育基金収支決算書

〈収入の部〉

費 目	金 額
1 玉翠会会計より繰入金	1,650,000
2 預 金 利 息	3,433
3 雑 収 入	0
4 前年度繰越金	21,841,598
合 計	23,495,031

〈支出の部〉

費 目	金 額
1 奨 学 金	1,630,800
2 教 育 活 動 費	200,000
3 予 備 費	0
4 次年度繰越金	21,664,231
合 計	23,495,031

創立110周年記念事業特別会計収支決算書

〈収入の部〉

費 目	金 額
1 玉翠会会計より繰入金	500,000
2 預 金 利 息	0
3 寄 付 金	1,200,000
合 計	6,200,053

〈支出の部〉

費 目	金 額
1 記 念 誌 関 係	23,734
2 文化祭関係(1)校舎模型	1,931,640
文化祭関係(2)制服制帽	8,510
3 天 竺 旗	176,400
4 キックオフパーティー	40,950
5 会 議 費	6,741
6 次年度繰越金	4,012,078
合 計	6,200,053

玉翠会事業報告

月	日	曜	事 業 名	会 場
5	20	月	玉翠会会長・副会長会	校長室
5	30	木	会計監査	5 階会議室
6	2	日	京阪神晩翠会総会	阪神百貨店
6	8	土	玉翠会理事会	1 階会議室
			玉翠会代議員会	玉翠ホール
			玉翠会教育基金運営委員会	5 階会議室
7	1	月	玉翠会・PTA 合同歓送迎会	リーガホテル
7	10	水	玉翠会報第 23 号発行	
7	13	土	東京玉翠会総会	東京プリンスホテル
9	7・8	土・日	第 52 回文化祭	高松高校
10	19	土	関西玉翠会総会	南海サウスタワーホテル
10	27	日	岡山玉翠会総会	アークホテル岡山
11	8	金	先輩講演会	体育館
11	17	日	徳島玉翠会総会	ホテルクレメント徳島
2	5	水	玉翠会会長・副会長会	校長室
3	7	金	卒業式	体育館

平成 15 年度 玉翠会会計収支予算書

〈収入の部〉

費 目	金 額
1 玉翠会入会金	1,183,400
2 玉翠会 会費	9,000,000
3 広 告 料	400,000
4 雑 収 入	2,922
5 前年度繰越金	28,898,678
計	39,485,000

〈支出の部〉

費 目	金 額
1 本部運営費	4,550,000
(1)玉翠会運営費	900,000
(2)慶 弔 費	450,000
(3)玉翠会報発行費	1,600,000
(4)職 員 給 与	1,600,000
2 支部運営費	1,400,000
(1)支部総会お祝	500,000
(2)支部総会旅費	900,000
3 卒業生記念品料	150,000
4 学 校 助 成 金	2,000,000
5 備 品 充 実 費	200,000
6 教育基金へ繰入	1,650,000
7 退 職 積 立 金	200,000
8 110周年記念事業費 特別会計へ繰入	3,500,000
9 予 備 費	400,000
10 次年度繰越金	25,435,000
計	39,485,000

創立100周年記念玉翠会教育基金収支予算書

〈収入の部〉

費 目	金 額
1 玉翠会会計より繰入金	1,650,000
2 預 金 利 息	5,769
3 雑 収 入	0
4 前年度繰越金	21,664,231
合 計	23,320,000

〈支出の部〉

費 目	金 額
1 奨 学 金	1,650,000
2 教 育 活 動 費	200,000
3 予 備 費	100,000
4 次年度繰越金	21,370,000
合 計	23,320,000

創立110周年記念事業特別会計収支予算書

〈収入の部〉

費 目	金 額
1 玉翠会会計より	3,500,000
2 祝 賀 会 会 費	20,000,000
3 預 金 利 息	22
4 前年度繰越金	4,012,078
合 計	27,512,100

〈支出の部〉

費 目	金 額
1 記 念 誌 関 係	70,000
2 在 校 生 記 念 誌 代	1,200,000
3 文化祭関係(1)校舎模型	1,600,000
文化祭関係(2)制服制帽	600,000
文化祭関係(3)マネキン	100,000
文化祭関係(4)展示費	100,000
4 祝 賀 会 諸 経 費	20,000,000
5 記念モニュメント	2,500,000
6 香川の早慶戦	1,000,000
7 広 報 関 係 費	225,000
8 横 断 幕	73,500
9 そ の 他	43,600
合 計	27,512,100

玉翠会事業計画

月	日	曜	事 業 名	会 場
5	7	水	玉翠会会長・副会長会	校長室
5	12	月	会計監査	5 階会議室
5	17	土	玉翠会理事会	1 階会議室
			玉翠会代議員会	玉翠ホール
			玉翠会教育基金運営委員会	5 階会議室
6	1	日	京阪神晩翠会総会	阪神百貨店
6	4	水	玉翠会報第 24 号発行	
7	2	水	玉翠会・PTA 合同歓送迎会	リーガホテルズ高松
7	12	土	東京玉翠会総会	ホテルパシフィック東京
9	6・7	土・日	第 53 回文化祭	高松高校
9	6	土	高松高校創立110周年記念祝賀会	全日空ホテルクレメント高松
10	19	日	岡山玉翠会総会	アークホテル岡山
10	21	火	先輩講演会	体育館
10	25	土	関西玉翠会総会	ホテルニューオータニ大阪
11			徳島玉翠会総会	ホテルクレメント徳島
2			玉翠会会長・副会長会	校長室
3	5	金	卒業式	体育館

食べる喜び、食の楽しさを満喫し、健康な日々を
過ごしていただけるよう、「幸せな食創り」を企業理念に
活動続ける日本ハム。ハム・ソーセージをはじめ、
いつも新鮮なおいしさがあふれる商品を通して、
みなさまひとりひとりの幸せな食卓づくりをお手伝い
していきたいと考えております。

 ニッポンハム

人と暮らしを潤す
「幸せな食創り」。



定時制だより



平成十五年は、四月八日に新入生十一名を迎え、生徒が六十六名、男子四十名、女子二十六名、職員七名でスタートしました。

私たち職員一同、働きつつ学ぶ意欲に応える教育活動を展開すること基本方針に掲げ、一人ひとりの個性や実態を尊重した、全人教育を進めています。

授業では、内容を精選し、基礎的・基本的な事項をおさえた「わかる授業」を実施し、就学意欲を一層高め、一人ひとりがステップアップできるような土台づくりに努めています。休み時間は職員室に生

恒例の観月句会開催

十月十八日(金)、仲秋の名月の夜、保護者の方も三名ご参加いただき、伝統的観月句会が行われました。

あいにくの曇り空のため観月会ではできませんでした。運動場へ一人ひとりを手にして想像力豊かな俳句をひねっていました。

場所を玉翠会館和室に移し、横田先生より優秀作品の発表があったあと、高校生活アドバイザーであり、香川県民俗学会会長の谷原博信先生から観月に関する楽しいお話をうかがいました。

その後は、生徒たちが点てたおいしい抹茶と和菓子を楽しむながら、交流を深めることができました。

「遠足」三十年ぶりの実現

十一月十日(日)快晴、本校東正門前に集合した生徒四十一名と教員七名を乗せて、バスは予定通り十時十分に出発しました。途中、車窓から眺めおろす瀬戸の海は美しく輝いていました。

目的地の鷺羽山ハイランドに着くと、正面入り口の階段を利用して集合写真を撮



恒例の宿泊研修

「県立屋島自然の家」
(五月二日・三日)

屋島宿泊研修には、一年生十六名が参加しました。入所式後、昼食を済ますとさそく船着き場に集合し、職員の手導を受けてカッターを漕いで雲一つない海原を屋島の沖へ出航しました。

二学期以降も放課後の部活動が活発に行われています。

また、学校行事においても、数十年前行われなかった文化祭や遠足が復活しました。今年度も高々百周年記念文化祭に参加するため意欲的に取り組んで参りたいと思っています。その節は皆様のご協力をお願い申し上げます。

それでは、以下、昨年度の学校行事等を中心に紹介いたします。



定通総体 四種目に参加

サッカー部・軟式野球部
全国大会出場

六月二十三日(日)、香川県定時制通信制総合体育大会が開催され、バスケットボール、卓球、バドミントン、サッカー各々が出場しました。その結果、サッカー部は二年連続優勝し、全国大会への切符を手に入れました。

また、五月十日に県営第二球場で行われた定通軟式野球大会でも、本校は三十五年ぶりに優勝を果たし、四国大会でも不戦勝で勝を拾い、全国大会出場の夢がかないます。

【全国大会の戦績】
第12回全国高等学校定時制通信制サッカー大会(八月九日・十三日) 静岡清水市一回戦
本校 0-2 大宮中央(埼玉)

通信制だより



通信制は創立五十五周年を迎えました。今春通信制は、専修生二十九名、特科生三〇名の合計三十二名と職員八名のスタッフを切り替えました。生涯学習の態度を培う精神は多くの卒業生に受け継がれています。

また、授業だけでなく、ホームルーム活動や学校行事を通じて異年齢間の友情を育んでいます。旧年度中の主な行事をご紹介します。

新生徒会長決まる

十二月十日(金)生徒会役員選挙が行われ、投票の結果、三年生の米谷聖さんが第五十五代生徒会長に選出されました。

初め、定通合同文化祭開催
合同文化祭開催
定時制
二十七年ぶり実施

九月七日(土)、八日(日)の両日、第五十三回高等学校文化祭が盛大に開催されました。定時制としては昭和五十年以来実に十七年ぶりの文化祭となり、全日制との協力で楽しかったです。

今年、本校は創立百周年を迎え五十五周年という節目を迎え、定時制のほうも創設五十五周年ということもあって、昨年度以上に充実した記念文化祭を作りあげたいと思っていますので、展示作品のご提供など、卒業生の皆様の一層のご協力をよろしくお願い申し上げます。



文化祭、遠足、宿泊研修、定通総体、生徒会活動、そして教師や友だちの思い出話をして、たくさん何うかがいできました。当時のことを熱く語られる場面もあり、大変盛り上がりました。

詳しくは「高松高校百周年記念誌」の「定時制」コーナーに掲載される予定になっています。



五月十六日
於 香川県青年センター

定通総体
六月二十四日
於 高松工業高校ほか六会場

第五十一回香川県定通総体の四種目に二十八名が出場しました。

陸上競技
砲丸投げ 宇野弘起 五位
砲丸投げ 宇野弘起 四位
円盤投げ 宇野裕里 一位
800m 箭田裕里 一位
5000m 窪田英二 二位

バレーボール
女子決勝
高松通信二〇九電通信(優勝、全国大会出場)

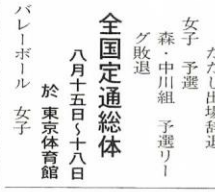
バドミントン
男子二回戦
高松通信二〇九電通信(優勝、全国大会出場)

女子一回戦
高松通信三〇九電通信(優勝、全国大会出場)

二回戦
高松通信二〇九電通信(優勝、全国大会出場)

三回戦
高松通信二〇九電通信(優勝、全国大会出場)

四回戦
高松通信二〇九電通信(優勝、全国大会出場)



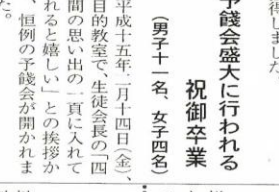
第五十回全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会
香川県予選
十月二十日
於 県商工会議所

四年生の井山直子さんが「校の写真から」を発表

「優秀賞」をいただきました。

第二回「私の主張」作文コンクール
二年生の太田智子さんの「タイムマシーン」が全国私立通信制高等学校協会会長賞を受賞しました。

十二月二十日(日)、本校生徒・職員合わせて五十人ほどの参加があり、和やかな雰囲気の中で高校生活を振り返っていました。



予餞会盛大に行われる
祝御卒業
(男子十一名、女子四名)

平成十五年二月十四日(金)、多目的教室で、生徒会長の四年間の思い出の一頁に入れたくると嬉しいという挨拶から、恒例の予餞会が開かれました。

ステキだな。

人と自然の「ふれあい笑顔」があふれる街。

人と人、人と自然がふれあいながら、明日の夢を育ててゆく。

そんな明日の街づくりへの歩みを、いつまでも地域の皆様とともに。

いい出会い ふくらむ未来

百十四銀行

校長先生や南同窓会長からお祝いの言葉が贈られ、卒業生は思い出ビデオを観ながら四年間の思い出話に花を咲かせました。

卒業式・特別表彰
三月七日 於 本校

「優秀賞」を受賞しました。

第二回「私の主張」作文コンクール
二年生の太田智子さんの「タイムマシーン」が全国私立通信制高等学校協会会長賞を受賞しました。

十二月二十日 於 本校
生徒・職員合わせて五十人ほどの参加があり、和やかな雰囲気の中で高校生活を振り返っていました。

第五十四号発行!

定時制創立(一九四八年)以来続いている「渚」が、発刊されました。